

1. 科目名 (単位数)	認知症の理解 I (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2312 SNMP2112 SCMP2312 SBMP2312
2. 授業担当教員	先崎 章		
4. 授業形態	講義、質疑応答形式を併用、ビデオ教材による知識の習得とディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>認知症の医学的、行動的、心理的、社会福祉の概要の理解を深めるよう努力します。将来社会人となることから、老人医療、地域社会、精神保健および精神保健福祉制度についても関心がいくよう、認知症に関連する知識の習得を目指します。具体的な達成目標レベルは、認知症ケア専門士認定試験の「認知症ケアの基本」分野で合格点をとれることです。また、最新の認知症治療や認知症予防についての理解を深めるために、ビデオ教材を適時使用します。</p> <p>少子高齢化が、かつて人類が経験したことの無いスピードで進行しています。精神疾患 (含、認知症) の増加、障害者概念の広がりにより、平成 25 年度から施行される新たな医療計画に 5 疾病 5 事業の一つとして精神疾患 (含、認知症) が加わり、また同時に (介護保険法に準ずる形で) 地域障害者総合支援法がスタートします。最近の福祉・医療の概要、動向についても理解を深めていきます。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉士として必要な認知症の知識を身につける。 2. 脳の機能や老人の心理や精神疾患についての理解を深める。 3. 認知症に付随する身体症状や介護についての視点も身につける。 4. 家族の力や地域資源を活かす視点を身につける。 5. 認知症や高齢者に関する医療や制度の理解を深める 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>毎回の出席票を、月ごとにまとめて提出していただきます。</p> <p>講義の中で一部時間をとって、各人発表 (コメントで内容を補う) も行います。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 介護福祉士養成講座編集委員会編集『最新・介護福祉士養成講座 13 認知症の理解 第 2 版』(2022 年 2 月発行) 中央法規。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p> <p>【参考書】 山口晴保編『認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント 第 2 版』協同医書出版社。 日本認知症ケア学会編『認知症ケア標準テキスト改訂 5 版・認知症ケアの基礎』(株) ワールドプランニング。 『新・精神保健福祉士養成講座 1 精神疾患とその治療 第 2 版』中央法規。 東京福祉大学編『社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 認知症の介護や支援の原則や方法について、明瞭かつ論理的な説明をすることができるか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 毎回の提出物、授業態度 総合点の 50% 2 課題レポート 総合点の 10% 3 復習テスト (随時実施) 総計点の 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>A4 判の出席票を配布しますので、印刷して授業に参加してください。毎回の出席票を、月ごとにまとめて提出していただきます。認知症に対する医学的な知見や対応方法は、最近 5 年間をみてもまったく様変わりしています。最新の知見、トピック、話題を提供して、認知症や老人に対する興味や関心が持てるよう、視覚教材も交えて授業を工夫していきます。</p> <p>基本的な知識を習得するためには、地道な学習活動と基本事項を記憶していくことが必要です。医学的、科学的な知識、エビデンスに裏付けられた介護、支援、援助、社会福祉的な介入が将来できるように願って、授業を進行させていきます。具体的には「医学的なこと」「心理的なこと」「社会福祉的なこと」の 3 つの事柄を進行させていきます。</p>		
13. オフィスアワー	講義の前後の時間、あるいは木曜日 (授業、会議のない時間帯)		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、認知症の生活障害、症状 認知症の定義、原因疾患、MCI とは	事前学習	認知症の生活障害、症状について調べてみる
		事後学習	認知症について教科書 1~13 頁の復習
第 2 回	認知症の基礎、脳・海馬について、基本的な認知症の種類 原則個室ユニット型から、相部屋への後退	事前学習	教科書 35~85 頁の図表を見てくる
		事後学習	脳や認知症について出席票プリントの復習
第 3 回	個室ユニットと相部屋の違い アミロイドβタンパクとタウタンパクについて	事前学習	各疾患の脳変性部位、およびタウタンパク、アミロイドβタンパクを調べてみる (18 頁)
		事後学習	脳の変化について出席票プリントの復習
第 4 回	高齢者 (認知症者) のうつと躁、認知症・せん妄・うつ病の違い、認知症者の不安について	事前学習	うつ病、認知症、せん妄の違いを調べてみる
		事後学習	うつ病とせん妄、およびアルツハイマー病について、教科書 21~23 頁、65~75 頁の復習
第 5 回	認知症の人の行動・心理症状 中核症状 BPSD への対応について	事前学習	教科書 34~63 頁を読んでおく
		事後学習	BPSD についての配布プリントの復習
第 6 回	BPSD への対応について (続き)、各種認知症について	事前学習	アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症について中核症状と BPSD を調べてみる
		事後学習	出席票プリントの復習

第7回	各種認知症の症状や対応の違い（若年認知症も含む）、 治る認知症について	事前学習	教科書 78～94 頁を読んでおく
		事後学習	出席票プリントの復習
第8回	高齢者の認知症と若年者の高次脳機能障害との違い	事前学習	高次脳機能障害について調べる
		事後学習	出席票プリントの復習
第9回	認知症の人に対する介護、国家試験に挑戦 アルコール依存症合併例など特殊例への対応	事前学習	精神作用物質依存対応について復習する
		事後学習	出席票プリントの復習
第10回	認知症者に合併するてんかん、知的障害との違い	事前学習	認知症と知的障害・発達障害の違いを調べる
		事後学習	出席票プリントの復習
第11回	介護者自身の体験、家族のこころ 家族の力を活かす、こころを支える（介護者支援）	事前学習	教科書 266～280 頁を読んでおく
		事後学習	出席票プリントの復習
第12回	認知症の対応、環境の大切さ、家族の会の役割について （地域生活支援）	事前学習	パーソンセンタードケアについて調べる
		事後学習	出席票プリントの復習
第13回	地位包括ケアシステムにおける認知症ケア 認知症ケアにおける倫理	事前学習	教科書 300～312 頁、123～131 頁読んでおく
		事後学習	出席票プリントの復習
第14回	認知症の人へのさまざまなアプローチ	事前学習	教科書 225～245 頁を読んでおく
		事後学習	出席票プリントの復習
第15回	全体のまとめ 認知症や高齢者に関する最近のトピックス	事前学習	これまでの全出席票の復習をしておく
		事後学習	出席票プリントの総復習